

Q10b カシオペア A 超新星残骸から観測された keV と TeV の相関

前田良知 (ISAS/JAXA)、他 the Suzaku SWG Cas A team

カシオペア A 超新星残骸をすざくで観測したのでここで報告する。カシオペア A は年齢 340 歳ほどの銀河系で最も若い超新星残骸だと考えられている。すざく衛星に搭載された XIS 検出器を用いて、このカシオペア A のエネルギーバンド毎のイメージを作成した。鉄輝線を含む 6-7 keV band では、北側に最も強いピークが現れた。一方、4-12 keV の連続 X 線のイメージは西側が強いことを確認した。MAGIC TeV ガンマ線望遠鏡で取得されたイメージを重ねるとそのピークが同じく西側に寄っていることがわかった。keV 領域の連続 X 線と TeV ガンマ線放射が同一の領域を起源としている可能性が高いと考えられる。当講演ではイメージを示し、keV と TeV が空間的に相関していることの意味について議論する